わたしたちがつくる

地域支えあい協議体

高齢者の健康・生きがい・困りごとを支えたい

GOAL
誰もが年齢を重ねても
健康で幸せに
地域で孤立することなく
暮らせるまちづくり

狩野



KANO

広町



HIROMACHI

地蔵堂



JIZOUDOU

三人寄れば文殊の知恵の巻

事例紹介
和田河原・地蔵堂

小さくても良いので、
できることから
始めていきませんか。



第5号

南足柄市社会福祉協議会（令和8年11月発行）



超高齢社会の中で心がハレバレするような毎日を過ごせるようにと願いを込め漫画を掲載しています

きょうも8080!!

ゆかいに生きる道しるべ

#044　移動販売車

移動販売の車が来ると、
少しワクワクした風が吹き抜けます。

「今日はどれにしようか」と
商品を選べることもまた
移動販売の魅力の一つです。

これは誰かのサポートに頼りきらず
買い物を続ける工夫ですね。

こうして自分で選ぶ楽しみが
元気を作っているのでしょう。

そんな当たり前で大切な時間を
街のみんなで支えていきたいですね。

作・あわわ

あなたの声を聞かせてください

協議体は南足柄市に
在住・在勤の誰もが
対象です。
「身近な困りごとがある」
「活動に興味がある」
「もっと知りたい」
など、あなたの
ご意見やご感想を
お聞かせください。
TELやFAX、
Googleフォームを
ご利用ください。

ご意見・ご感想用
Googleフォーム

この冊子を作った人



私たちと一緒に紙面作り
をしませんか？
できることをできる範囲
でOKです
興味のある方は社協まで
ご連絡ください

地域支えあいフォーラム

12月8日(火)
10:00~12:00
女性センター研修室1，2

講　師　土屋 幸己 さん
（一般社団法人
コミュニティーネットハピネス代表理事）

報告者　佐藤 廣理（ひろみち）さん（地蔵堂）

参加費　無料　手話通訳あり

南足柄市社会福祉協議会
地域福祉班（ボランティアセンター）
TEL 0465-72-2299
FAX 0465-74-3276
minamisyakyo.or.jp/

協議体ってなあに？

協議体は、介護保険制度のもと、全国すべての自治体が行う「生活支援体制整備事業」の取組みです。

南足柄市において、超高齢社会での住民主体の助け合い活動を行う「協議体」の理解を深めるための説明会が開催されました。

その主旨に賛同した私たち（有志）が「自分たちの協議体」を立ち上げようとしています。

ざっくり言うと 支え合いのしくみ





協議体ってなにするところ？

限りある介護人材や財源を必要な人のためにしっかりと活かしながら、より多くの高齢者の健康と生きがいを支える地域のしくみをつくることが協議体の目的です。

協議体は、各団体や住民が集まり情報や意見を交換することで新たな気づきや取組みが生まれる場となります。

誰もが年齢を重ねても健康で幸せに、地域で孤立することなく暮らせるまちづくりをめざします。

ズバリ はなしあうところ！





和田河原

私たちの地域では、こう始まった



地域福祉会

うちの地域でも、協議体（話し合い）をやってみよう

約20年間続けてきた子育てサロンもコロナ禍をきっかけに参加者が減り、近年は毎回0～2組ほどに。「これからどうしよう？」と悩んでいました。

1 そこで、地域のみんなで話してみた

まずは地域で活動する団体の代表たちが集まり、それぞれの活動や悩みを共有しました。
回を重ねる中で女性の参加も増え、話し合いの焦点が「子どもたちの見守りをする人が減っている」という身近な困りごとに移りました。



▲ R7.3.29　和田河原地域で協議体を初開催。
自治会･地域福祉会･暫く金時隊･老人クラブ･おたがいさまネットの代表者や民生委員が参加。

2 子どもは地域の宝！

話し合ううちに、現地を見に行こうということに。
「通学路の急な下り坂で、子どもたちがけがをすることがある」という課題も見えてきました。

「学校に安心して通えるようにしてあげたい」
「地域で何ができるのか考えてみよう」





▲ 実際に通学路を歩いて確認　▲立て看板を新設

3 いろいろな動きが生まれています



◀①福祉会が独自にやっていた子育てサロン＋ふれあいカフェ
↪全世代が参加できるサロンへ

子どもとの交流を通して高齢者も元気に



②暫く金時隊とともに、小学校の下校時の見守り活動に参加 ▶

**地域の状況に合わせて活動を変えることで、
子どもから高齢者まで、みんながつながり笑顔で暮らせる地域へ**

地蔵堂

こんな関わり方もあります



このままでは、地域を支えるのが難しくなる…

少人数自治会で高齢化も進み、「5年後、10年後はどうなるんだろう？」
そんな危機感から**元自治会長･民生委員･福祉会会長の3人が協議体の必要性を感じました。**

1 話し合う

自治会長を含む住民に協議体について説明。
民生委員からも、なぜ協議体を始めるのかを伝えました。
そして、自治会から立ち上げについて理解を得ました。



▲協議体の説明会の様子（R8.1.25）

2 まずは、集まる場をつくってみよう

定期的に住民が集まり、**話せる場をつくりたい。**
そこで、**高齢者の困りごとも聞けたらいい。**
まずは、集まる場をつくることから始めてみることにしました。



▲3人での話し合い

3 やってみました！！

「桜を見る会」を開催



今年も楽しい時間を過ごしました

体操会＆お茶会「ちょこっと体操」

NEW



介護予防サポーターの協力のもと体操会を開催

「地域の歴史について」講話を開催

NEW



市内外から多くの方が来場され、公民館は満員になりました

地蔵堂の取り組みの詳細は、12月8日の地域支えあいフォーラムの際に報告していただきます